

G3 のツイッター その26

烈剛河内 竹井 保満

最近、個人情報の管理が杜撰になっているのか、Eメールやダイレクトメールで、健康の管理に関するものが沢山届くようになりました。やれ腸内細菌の悪玉菌を殺して善玉菌を培養せよとか、酵素を増やして食物の消化吸収を良くせよとか。どうしても消化吸収が出来ず、他人様のウンチの中の細菌を腸内に入れてもらう人は別として、母親から生まれるとき産道を通じた時に頂いた細菌は、人それぞれの体や頭脳の個性を作ってきたもので、いらぬお節介ではないでしょうか。

そんな事より、関心を持ちたいのは、自然界にある細菌やバクテリアではないでしょうか。土の中の細菌は、沢山の有用な細菌やバクテリアを発見してきました。直近では、エバーメクチンという薬を開発し、ノーベル賞に輝いた大村智教授です。古い話では、太古に作られてた石油や石炭や、ハイドロメタンも、細菌やバクテリアが作り出したものです。

細菌やバクテリアは至る所に存在する様で、日本が世界に誇る調査船ちきゅう号が海底下2500メートルのところから採取した岩石の中に細菌がいたのですから驚きです。地球をもっと大切にしたいものです。

5月号の本誌で拝見したのですが、東京都春季B P大会で59kg級にM5が3名もおられました。M5は東京だけのことだそうですが、思わず万歳を叫びました。生涯スポーツと謳っておるのですから、他の支部にもM5が有ってもいいと思います。JPAの幹部の方にお聞きしたことが有りますが、竹井、一人のためにM5は出来ないとの事でした。大阪支部を通して本部に上げましたが、規約の何条（失念）に区分がこうに成っているだけの返事でした。一人のためにとは違い、高齢者を参加させることに意義が有ると思います。

区分が増えると複雑になるのは解りますが、私がお世話になっているマスターズ陸上は、大阪だけで1600人以上が加入しています。M24から5歳きざみでM100まであります。競技数も30種目有ります。さらに、それぞれの種目ごとに係数があり、若者と年寄りが、同じ土俵で競うこともできます。

また、ウェイトリフティングのマスターも、M35からM80迄でしたが、私が参加したことで、M85を作っていただきました。平成23年に制定されたスポーツ基本法が成立、交付されましたが、その中に老人のスポーツの奨励の項目があります。ドーピングのテストも合格させて頂きましたし、石井先生の仰る通り90歳までは、落ちていく筋肉を保ち乍ら頑張るつもりです。